



# 東京PCB廃棄物処理事業だより (No.30)

## 東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当処理施設の平成24年4月～6月の処理実績は下表のとおりです。

この期間は高濃度PCB廃棄物、低濃度PCB廃棄物とも、全てのPCB廃棄物処理を止め、定期点検業務を行ったために処理台数は他の時期と比較して少なくなっています。

高濃度・低濃度区分	廃棄物種類	4月～6月 処理台数	操業開始からの 処理累計
高濃度PCB廃棄物	トランス類	79台	1,556台
	コンデンサ類	955台	17,501台
低濃度PCB廃棄物	柱上トランス絶縁油	268.8kl	9,410.1kl

\*高濃度PCB廃棄物については処理に着手した台数を処理台数としています。

\*東京事業所に係る安定器等の受入については、現在停止しております。

## 東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会が開催されました。

7月26日に第24回ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会が開催されました。

今回の委員会は、国において進められてきた「PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」での検討がほぼ終わり、パブリックコメントに付されていることから、委員会に検討状況を報告するため開催されることになりました。

委員会では、①今後のPCB廃棄物の適正処理推進について②二次廃棄物等の保管状況及び今後の対応について③東京事業における処理推進方策の検討状況についてなどの報告がなされ、委員から活発な意見が寄せられました。検討委員会の結果は東京事業所の今後の操業に大きな影響を及ぼすことにもなることから、委員会での意見を踏まえた対応が重要になります。



環境安全委員会の様子

## 安全教育等について

### ①全国安全週間の取組み

全国安全週間(7月1日～7日)に合わせ、東京事業所では安全大会の日や保護具安全の日、安全意識高揚の日、設備安全の日など、毎日テーマを掲げて取り組みました。安全大会では、当社の状況や安全確保の重要性に関する社長メッセージの伝達、事業所の労災発生状況から「被液、転倒、手指・足元の注意」、「先取り安全」等の所長訓示があり、全員のコールでゼロ災を誓いました。

また、「安全講話」を計4回開催し、本社の講師より産業安全運動100年の歴史や何故安全か、安全活動の基本等が分かりやすく説明され、一人ひとりの安全意識の高揚を図りました。



安全大会のゼロ災コール

### ②防災ビデオ(自衛消防力の向上)

全国安全週間の準備月間(6月)は、過去の事例に学ぶ活動として、小集団による災害事例研究や再発防止対策の点検、安全パトロール等を行いました。

また、3.11大地震を教訓とする東京消防庁制作の防災ビデオによる全員教育を行い、自衛防災意識の向上に役



防災ビデオ教育



安全講話

## 高濃度施設の定期点検について

平成24年度の高濃度処理施設の定期点検業務を5月14日から6月11日までの日程で実施しました。この期間中にボイラーや電気設備等の法定点検、主要設備の定期検査及び施設が停止していなければ出来ない工事・点検などを実施しました。また継続的に安全・安定的な操業ができるよう改善工事も行いました。

### (1) 安全大会の実施等



安全大会の様子

定期点検業務を無事故無災害で行えるよう安全大会を実施しました。

JESCO社員及び運転管理会社従業員、点検・整備にあたる工事請負者などの関係者が一堂に会し、安全訓話、安全宣言などを行い、注意喚起及び安全意識の共有を図り、全員の安全コールで締めくくりました。

期間中は、入所教育や安全パトロールを強化し、定期点検業務を無事故・無災害で終わることができました。

### (2) 定期点検時の設備補修の一例

写真は、加熱炉で炭化された紙・木（主にコンデンサ素子由来のもの）を超微粒子化（100 $\mu$ m以下）してスラリーを作るUFミル装置を開放した状況です。

装置はミルボール（白色の粒）、内・外筒に取付けた攪拌翼から構成されています。矢印は内筒の攪拌翼で本来四角い形状をしています。が、操業当初からの使用により角の部分が磨耗し丸くなっています。

攪拌翼が丸くなることでスラリー化する効率が低下してきたため、今回はA号機の内・外筒部分などを交換しました。



改善工事前のUFミル装置

## 第1四半期の見学状況について



見学の様子（外国から）

4月から6月までの見学状況については、保管事業者、官公庁、学校、海外等13団体、合計91人の方々にお越しいただきました。

外国からの見学としては、6月にはUNIDO主催でマレーシア、ガーナ他の方々が見学されました。

見学を希望される場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

	4月	5月	6月	合計
団体数	4	5	4	13
見学者数	17人	22人	52人	91人



日本環境安全事業株式会社 東京事業所  
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）  
Tel 03-3599-6023

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>